

事業報告書

(自平成16年4月1日至平成17年3月31日)

1. 事業の概況

(1) 平成16年度の事業概況

当財団は、住友グループ20社が現在の住友の諸事業の礎である別子銅山の開坑300年を記念して設立を決意し、「人類社会の直面する諸問題の解決・改善を目的とする諸分野における研究及び事業に対し、国際的な視野をもって、時代の要請に適った助成を行い、もって人類の豊かな社会建設に資することを目的とする」助成財団として、平成3年9月25日に内閣総理大臣の設立許可を得て助成事業を開始しました。

第14期の平成16年度は、経理面では、金利情勢は引き続き厳しかったものの、一部債券の買い換えによる運用利回りの向上により、助成事業の財源となる運用収入は前年度比2千3百万円余増加しました。助成事業については、5つの公募助成プログラムに非公募の「その他助成」を加え、助成総件数は249件と前年度比7件増加、助成金総額は3億4千6百万円余と予算(3億4千5百万円)及び前年度を1百万円余上回る助成を実施しました。

	助成件数(前年度比)	助成金額 (前年度比)
(イ) 基礎科学研究助成	92件(+4件)	130,000千円 (± 0千円)
(ロ) 環境研究助成	62件(+5件)	100,000千円 (± 0千円)
(ハ) 文化財維持・修復事業助成	25件(-4件)	50,030千円 (-2,590千円)
(ニ) 海外の文化財維持・修復事業助成	8件(±0件)	20,249千円余 (+2,381千円余)
(ホ) アジア諸国における日本関連研究助成	57件(±0件)	40,081千円余 (-459千円余)
(ヘ) その他助成	5件(+2件)	6,000千円 (+2,000千円)
合計	249件(+7件)	346,361千円余 (+1,332千円余)

(2) 経理の状況

景気は長期停滞から漸く脱したものの、その後調整局面に入るなど依然として力強さに欠けたため、デフレ圧力の強さも加わって、金利は引き続き極めて低水準で推移しました。

このような情勢に対処して、一部債券の入れ替えにより運用利回り向上を図った結果、運用収入は4億5千5百万円余と前年度比2千3百万円余増加しました。加えて予期せぬ助成辞退等に伴う雑収入が3百万円余(前年度は2百万円余)あったため、運用収入と雑収入の合計額は前年度比2千4百万円余増加しました。一方支出面は、助成金支出を前年度比1百万円余増やしましたが、助成金を除く経費は事業費、管理費合計で前年度比2百万円余減少したため、当期正味財産増減額は1千4百万円余の増加(前年度は1千1百万円余の減少)となりました。

この結果、期末の正味財産は199億7千1百万円余となりましたが、基金(寄付累計額)の200億円には2千8百万円余食い込んでいます。

収支計算書の予算対比では、収入面は運用収入が予算比1百万円余増加、雑収入が同3百万円余増加、支出面は助成金支出を予算比1百万円余増やしましたが、助成金を除く経費は事業費、管理費合計で同2千7百万円余少なくなり(うち1千9百万円余は予備費未使用)、固定資産売却収入と同取得支出を除いて、差し引き3千万円余の収支尻改善となりました。固定資産(運用財産)の純増が3百万円余ありましたが、結局当期収支差額は1千1百万円余の黒字と予算対比では2千7百万余改善し、繰越収支差額1億9千9百万円余を次期に繰越しました。

(3) 平成16年度の助成

平成16年3月9日開催の理事会・評議員会で決定・承認された事業計画に基づいて、下記の助成を行いました。

(イ) 基礎科学研究助成

重要でありながら研究資金が不十分とされている基礎科学研究、とりわけ若手研究者による萌芽的研究に助成を行うもので、平成16年4月15日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比269件増の1,250件、助成申請金額で同4億8千4百万円余増の35億円余の応募がありました。

下記の12名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに7月31日及び9月25日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、92件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	西島和彦	仁科記念財団	理事長
選考委員	榎敏明	東京工業大学	教授
	鯉沼秀臣	東京工業大学	教授
	小山勝二	京都大学	教授
	佐野浩	奈良先端科学技術大学院大学	教授
	白井良明	大阪大学	教授
	樽茶清悟	東京大学	教授
	濱田博司	大阪大学	教授
	藤澤肇	名古屋大学	名誉教授
	宮岡洋一	東京大学	教授
	村橋俊一	大阪大学	名誉教授
	渡邊公綱	産業技術総合研究所 生物情報解析研究センター	長

選考委員会の選考結果に基づき、平成16年10月21日開催の理事会・評議員会において審議の結果、92件、助成金総額1億3千万円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成16年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

尚、期中に平成15年度の助成対象者(1件)より助成辞退の申し出があり受理しました。

(ロ) 環境研究助成

人類の直面している最大の問題の一つである環境問題に、研究助成という形で取り組んでいるもので、環境に関する様々な視点（人文・社会科学分野、自然科学分野）からの研究に助成を行っています。

「一般研究」と「課題研究」（本年度募集課題：都市における環境共生と適正な資源循環のためのシステムに関する研究）について、平成16年4月15日～6月末に公募したところ、応募件数で前年度比75件増の581件（内課題研究13件）、助成申請金額で同8千8百万円余増の17億5千万円余（内課題研究1億1千1百万円余）の応募がありました。

下記の7名の先生に選考委員を、1名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査並びに7月22日及び9月7日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、62件（課題研究1件）の助成対象候補が選ばれました。

選考委員長	安井 至	国際連合大学 副学長
選考委員	岩坂泰信	名古屋大学 教授
	植田和弘	京都大学 教授
	小島 覚	東京女子大学 教授
	但野利秋	東京農業大学 教授
	花木啓祐	東京大学 教授
	渡辺正孝	国立環境研究所 水圏環境研究領域長
専門委員	遠山千春	国立環境研究所 環境健康研究領域長

選考委員会の選考結果に基づき、平成16年10月21日開催の理事会・評議員会において審議の結果、一般研究61件、課題研究1件、助成金総額1億円(事業計画通り)の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成16年11月より行いました。

助成対象の明細は添付資料の通りです。

(ハ) 文化財維持・修復事業助成

「心の豊かさ」と「文化」を大切に、人類共通の財産である文化財を後世に継承するため、日本国内にある美術工芸品の維持・修復事業を対象として助成しているもので、平成16年10～11月に公募したところ、76件（前年度比10件増）、助成申請金額で1億6千8百万円余（同2千万円余増）の応募がありました。

下記の3名の先生に選考委員を委嘱し、書面審査並びに平成16年12月21日及び平成17年2月1日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、25件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	田邊三郎助	町田市立博物館 館長
	三輪嘉六	九州国立博物館設立準備室 室長
	渡邊明義	前 東京文化財研究所 所長

選考委員会の選考結果に基づき、平成17年3月9日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の25件、助成金総額5千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。採択者に対する助成金の交付は平成17年3月より行ってあります。

（二）海外の文化財維持・修復事業助成

上記（八）と同じ趣旨に加えて国際交流の観点から、海外にある文化財（美術工芸品及び遺跡）の維持・修復事業とその事前調査（維持・修復に直接つながるもの）を対象として助成しているもので、平成16年10～11月に公募したところ、17カ国（文化財の所在では22カ国）から37件（前年度比22件増）、助成申請金額で9千7百万円余（同6千1百万円余増）の応募がありました。

国内の文化財と同一の選考委員会で選考の上、平成17年3月9日開催の理事会・評議員会において審議の結果、添付資料記載の8件、助成金総額2千万円余（事業計画比微増）の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成17年3月より行ってあります。

（ホ）アジア諸国における日本関連研究助成

国際相互理解増進の観点から、主に東アジアと東南アジア諸国における日本に関連する人文・社会科学分野の研究に対して助成を行っているもので、平成16年9～10月に公募したところ、13の国・地域から、300件（前年度比33件増）、助成申請金額で3億6千万円余（同2千3百万円余増）の応募がありました。

下記の2名の先生に選考委員を、9名の先生に専門委員を委嘱し、書面審査及び平成17年2月7日開催の選考委員会で厳正な選考が行われ、57件の助成対象候補が選ばれました。

選考委員	加藤 剛	京都大学 教授
	小島 朋之	慶應義塾大学 教授
専門委員	井尻 秀憲	東京外国語大学 教授
	岩井美佐紀	神田外語大学 助教授
	倉田 秀也	杏林大学 教授
	貞好 康志	神戸大学 助教授
	菅谷 成子	愛媛大学 助教授
	高原 明生	立教大学 教授
	杜 進	拓殖大学 教授
	鳥居 高	明治大学 助教授
	速水 洋子	京都大学 助教授

選考委員会の選考結果に基づき、平成17年3月9日開催の理事会・評議員会において審

議の結果、添付資料記載の57件、助成金総額4千万円余(事業計画比微増)の助成対象を決定しました。

採択者に対する助成金の交付は平成17年3月より行っております。

尚、期中に平成15年度の助成対象者(1件)より助成辞退の申し出があり受理しました。

(へ) その他助成

この助成プログラムは、理事会・評議員会の直接の決定により

本財団の将来のプログラム展開上、意義大と思われる研究及び事業に対する助成

緊急を要するもので本財団としての対応が必要と認められる研究及び事業に対する助成

事業計画に掲げた助成プログラムと関連し、これを補充、強化する研究及び事業に対す

る助成

等を行うもので、本年度は、平成16年3月9日、平成16年6月8日、平成16年10月21日及び平成17年3月9日開催の理事会・評議員会において、添付資料記載の5件、6百万円の助成対象を決定・承認しましたが、5件のうち1件は案件が緊急であるため、会長・理事長の協議で決定し、平成17年3月9日開催の理事会・評議員会において事後承認を得ました。

助成金の交付は、助成決定後順次行っております。

2. 役員・評議員（平成17年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業	
会長 理事長 専務理事 理事	杉村 隆	国立がんセンター 名誉総長	
	住友吉左衛門	住友金属工業 技監	
	石川 睦夫	(常勤)兼 住友財団 事務局長	
	池端 雪浦	東京外国語大学 学長	
	石 弘光	一橋大学 名誉教授	
	奥田 碩	トヨタ自動車 会長	
	勝俣 恒久	東京電力 社長	
	熊谷 信昭	兵庫県立大学 学長	
	小林庄一郎	関西電力 顧問	
	佐々木 元	日本電気 会長	
	高橋 温	住友信託銀行 社長	
	長尾 真	情報通信研究機構 理事長	
	西川 善文	三井住友銀行 頭取	
	三浦 朱門	作家	
	宮崎 清文	日本交通福祉協会 会長	
	吉川 弘之	産業技術総合研究所 理事長	
	監事	森田松太郎	A R I 研究所 理事長
吉野 泰生		住友生命保険 会長	
渡邊 利夫		拓殖大学 教授	
評議員		石川 忠雄	慶應義塾大学 名誉教授
		出原 洋三	日本板硝子 会長
		岡田 節人	京都大学 名誉教授
		小田切康幸	住友大阪セメント 社長
		神谷 不二	慶應義塾大学 名誉教授
		茅 陽一	東京大学 名誉教授
		河村 元雄	住友倉庫 取締役相談役
		木村尚三郎	静岡文化芸術大学 学長
		グレゴリー・クラーク	国際教養大学 副学長
		古在 由秀	国立天文台 名誉教授
		小林 俊一	東京農工大学 監事
		下妻 博	住友金属工業 社長
		田丸 謙二	東京大学 名誉教授
		辻本 均	三井住友建設 特別顧問
	西原 春夫	早稲田大学 名誉教授	
	野依 良治	理化学研究所 理事長	
	日納 義郎	住友重機械工業 社長	
平山 郁夫	東京芸術大学 学長		
藤井 總明	住友軽金属工業 会長		
宮原 賢次	住友商事 会長		
守谷 恒夫	住友ベークライト 会長		
山田 康之	奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授		

役員・評議員共に任期は平成15年7月1日～平成17年6月30日です。

期中の異動はありません。

3. 職員（平成17年3月31日現在）

職名	氏名	任用年月日	担当業務
事務局長	石川 睦夫	平成3年9月25日	全般
総務部長	田淵 雅彦	平成14年4月1日	総務経理
企画部 助成担当部長	水野 隆	平成13年7月2日	助成事業
〃	粟田口和久	平成17年2月1日	〃
〃	中山 達弥	平成11年4月1日	〃
〃	野崎 正之	平成13年10月1日	〃
総務部員	大場 純子	平成13年3月21日	総務経理
企画部員	横田 智子	平成17年3月1日	助成事業

期中の異動

企画部 助成担当部長 粟田口和久 平成17年2月1日任用
 児玉 武雄 平成17年2月28日退任
 企画部員 横田 智子 平成17年3月1日任用
 布施 まり 平成17年3月15日退任

4. 主要事業日誌

平成16年4月15日～6月30日 「基礎科学研究助成」及び「環境研究助成」公募

6月8日 第39回評議員会

平成15年度事業報告及び決算承認

平成16年度「その他助成」助成先（1件）承認

選考委員（平成16～17年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」2名）選任承認

6月8日 第45回理事会

平成15年度事業報告及び決算承認

平成16年度「その他助成」助成先（1件）決定

選考委員（平成16～17年度「文化財維持・修復事業助成」及び「海外の文化財維持・修復事業助成」2名）選任

7月22日「環境研究助成」第1回選考委員会

7月31日「基礎科学研究助成」第1回選考委員会

9月1日～10月31日 「アジア諸国における日本関連研究助成」公募

9月7日「環境研究助成」第2回選考委員会

9月25日「基礎科学研究助成」第2回選考委員会

10月1日～11月30日 「文化財維持・修復事業助成」公募

「海外の文化財維持・修復事業助成」公募

平成16年10月21日 第40回評議員会

平成16年度「基礎科学研究助成」助成先(92件)承認

〃 「環境研究助成」助成先(62件)承認

平成17年度「環境研究助成」「課題研究」のテーマ承認

平成16年度「その他助成」助成先(1件)承認

10月21日 第46回理事会

平成16年度「基礎科学研究助成」助成先(92件)決定

〃 「環境研究助成」助成先(62件)決定

平成17年度「環境研究助成」「課題研究」のテーマ決定

平成16年度「その他助成」助成先(1件)決定

12月21日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」

第1回選考委員会

平成17年 2月 1日「文化財維持・修復事業助成」「海外の文化財維持・修復事業助成」

第2回選考委員会

2月 7日「アジア諸国における日本関連研究助成」選考委員会

3月 9日 第41回評議員会

平成16年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(25件)承認

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(8件)承認

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(57件)承認

〃 「その他助成」助成先(1件)承認

平成17年度事業計画及び収支予算承認

平成17年度「その他助成」助成先(1件)承認

選考委員(平成17～18年度「基礎科学研究助成」2名、「環境研究助成」1名)選任承認

3月 9日 第47回理事会

平成16年度「文化財維持・修復事業助成」助成先(25件)決定

〃 「海外の文化財維持・修復事業助成」助成先(8件)決定

〃 「アジア諸国における日本関連研究助成」助成先(57件)決定

〃 「その他助成」助成先(1件)決定

平成17年度事業計画及び収支予算決定

平成17年度「その他助成」助成先(1件)決定

選考委員(平成17～18年度「基礎科学研究助成」2名、「環境研究助成」1名)選任